

日本音韻論学会 2025年度春期研究発表会

ハイブリッド開催（福岡大学 & Zoom）

日時：2025年 5月 17日（土）

会場：福岡大学文系センター棟 15階 第5会議室

参加には、参加登録および参加費の支払いが必要です。
イベントペイシシステム **Peatix** を通じてご登録、お支払いください。下記の URL から **Peatix** にアクセスしてください。

<https://peatix.com/event/4373490/view>

参加費：一般会員 1,000 円、一般非会員 2,000 円、学生（会員／非会員）500 円

締切：懇親会にも参加される方...4月30日（水）

懇親会には参加されない方...5月15日（木）

参加登録をされた方々には、発表会の前日の 5月16日（金）に Zoom ミーティングのログイン情報等をご案内いたします。

=プログラム=

13:00-13:05 開会挨拶 会長 那須川訓也（東北学院大学）

セッション1 司会 田中真一（神戸大学）

13:05-13:35 一般発表 1：

市木敏也（福岡大学大学院）

神谷祥之介（福岡大学）

竹安大（福岡大学）

「日本語を母語とする英語学習者による英語の[r], [l], [ɹ]の知覚：子音と母音の持続時間の影響」

13:40-14:10 一般発表 2

Naoya WATABE（Osaka University）

“Vowel reduction in Ukrainian: A case study of /a/ following palatalized consonants”

14:15-14:45 一般発表 3

桑本裕二（鳥取県東伯郡琴浦町教育委員会）

「鳥取県中部方言に残存する重起伏アクセントの現状」

=休憩（15分）=

セッション2 司会 劉莎（福岡工業大学）

15:00-15:30 一般発表 4

Seunghun J. Lee (International Christian University & University of Venda)

Cédric Patin (University of Lille)

“The prosody of non-canonical questions in Southern Bantu languages”

15:35-16:05 一般発表 5（オンライン）

Noriko Yamane (Hiroshima University)

Masahiro Shinya (Hiroshima University)

Xiaofeng Tan (Hiroshima University)

Chiya Amos (Hiroshima University)

“Integrating manual motion techniques from music practice into English pronunciation training for EFL learners”

=休憩（15分）=

セッション3 司会 時崎久夫（札幌大学）

16:20-17:10 学位取得者講演

神谷祥之介（福岡大学大学院特別選抜研究員）

「言語変化における音声産出と知覚の役割：鹿児島方言に関する事例研究」

=休憩（5分）=

17:15-17:55 会員総会

17:55-18:00 閉会挨拶 副会長 田中真一（神戸大学）

=問い合わせ先=

担当：竹安 大（春期研究発表会担当理事）

Email: takeyasu [A T] fukuoka-u.ac.jp

（[AT] を@に置き換えてください）